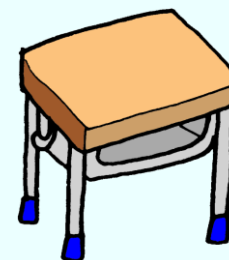




八尾地域



市立小・中学校の 将来のあり方について

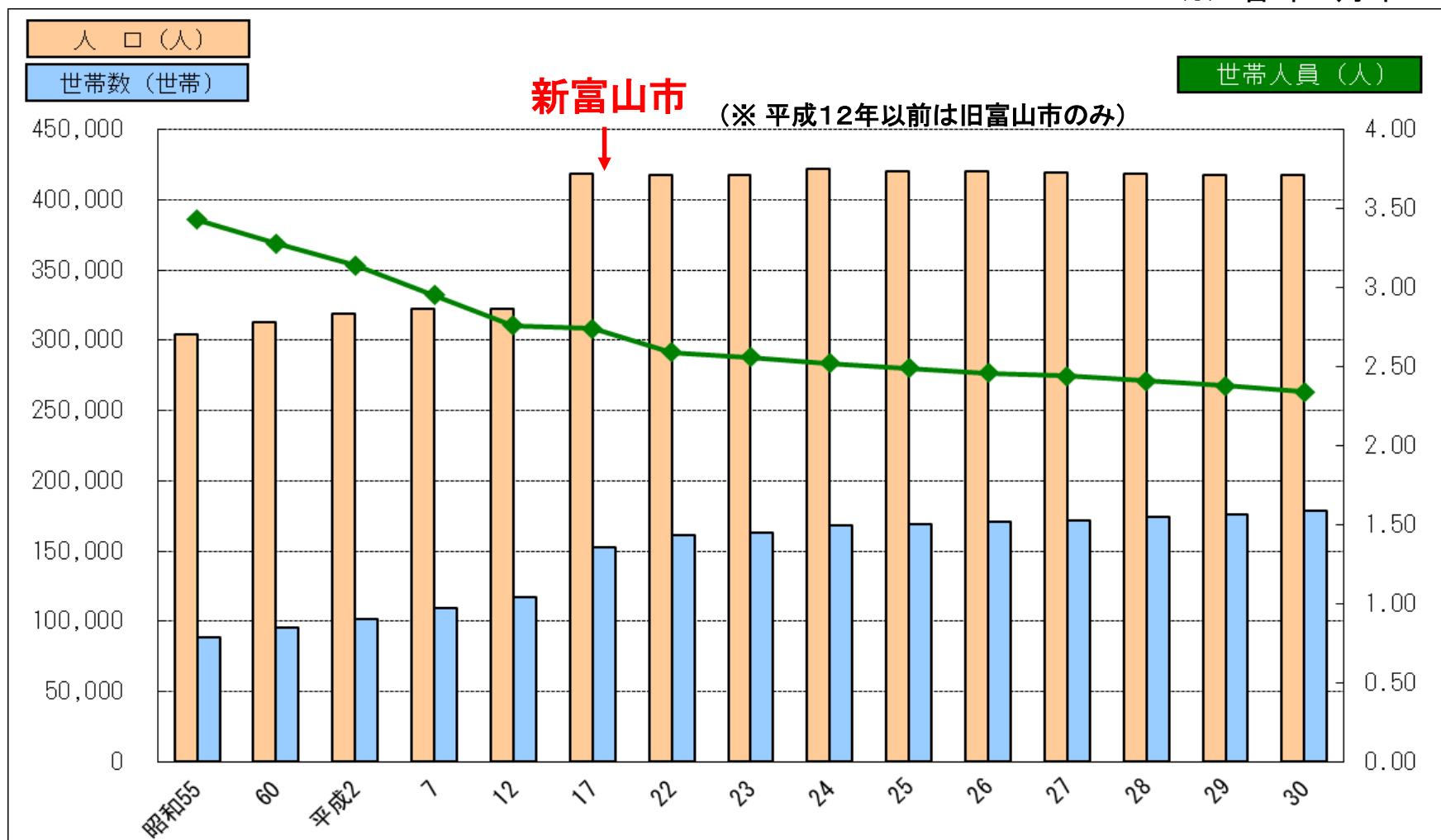


富山市教育委員会

1 富山市全体の状況

(1) 人口の推移

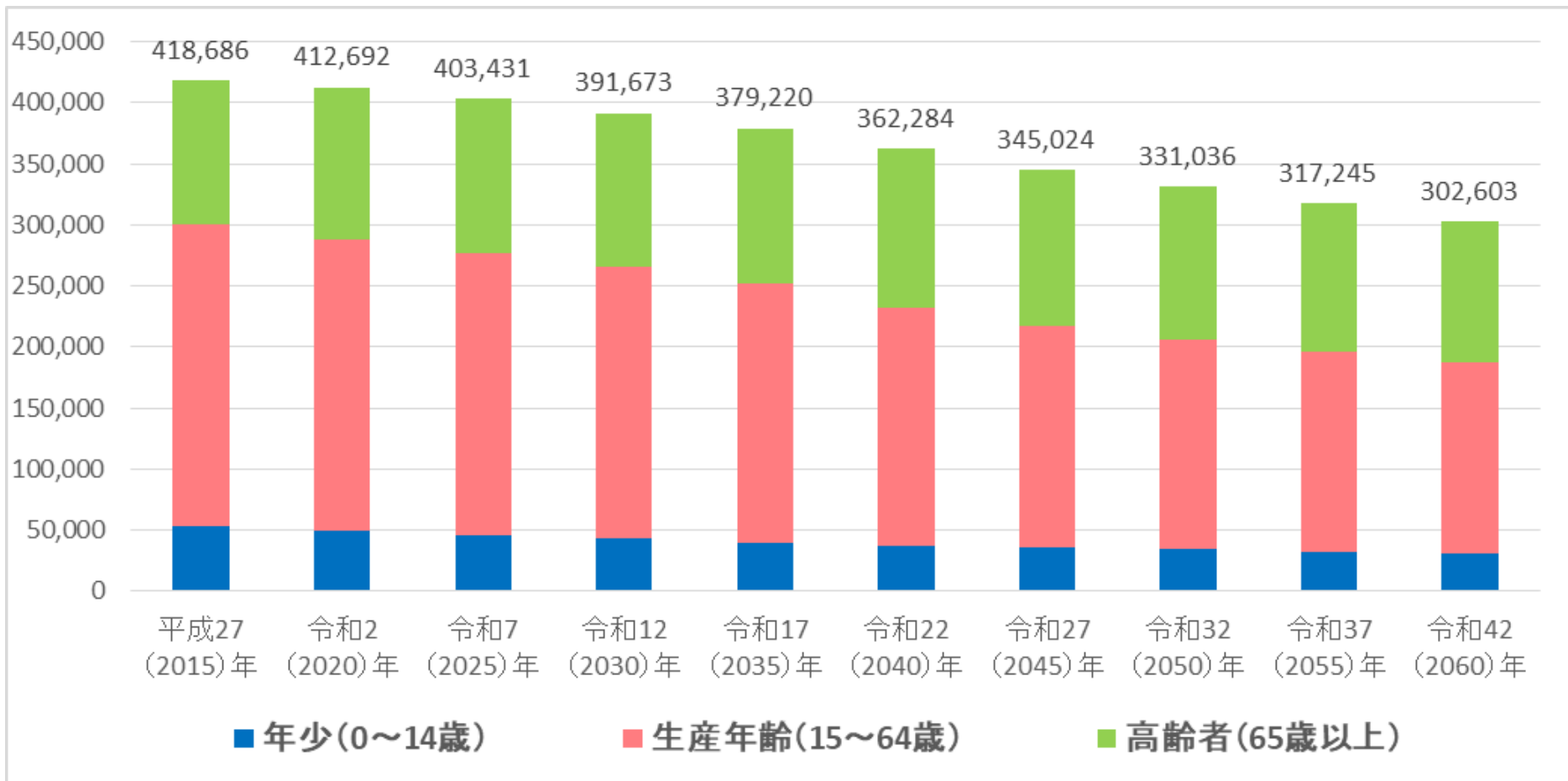
※ 各年9月末



1 富山市全体の状況

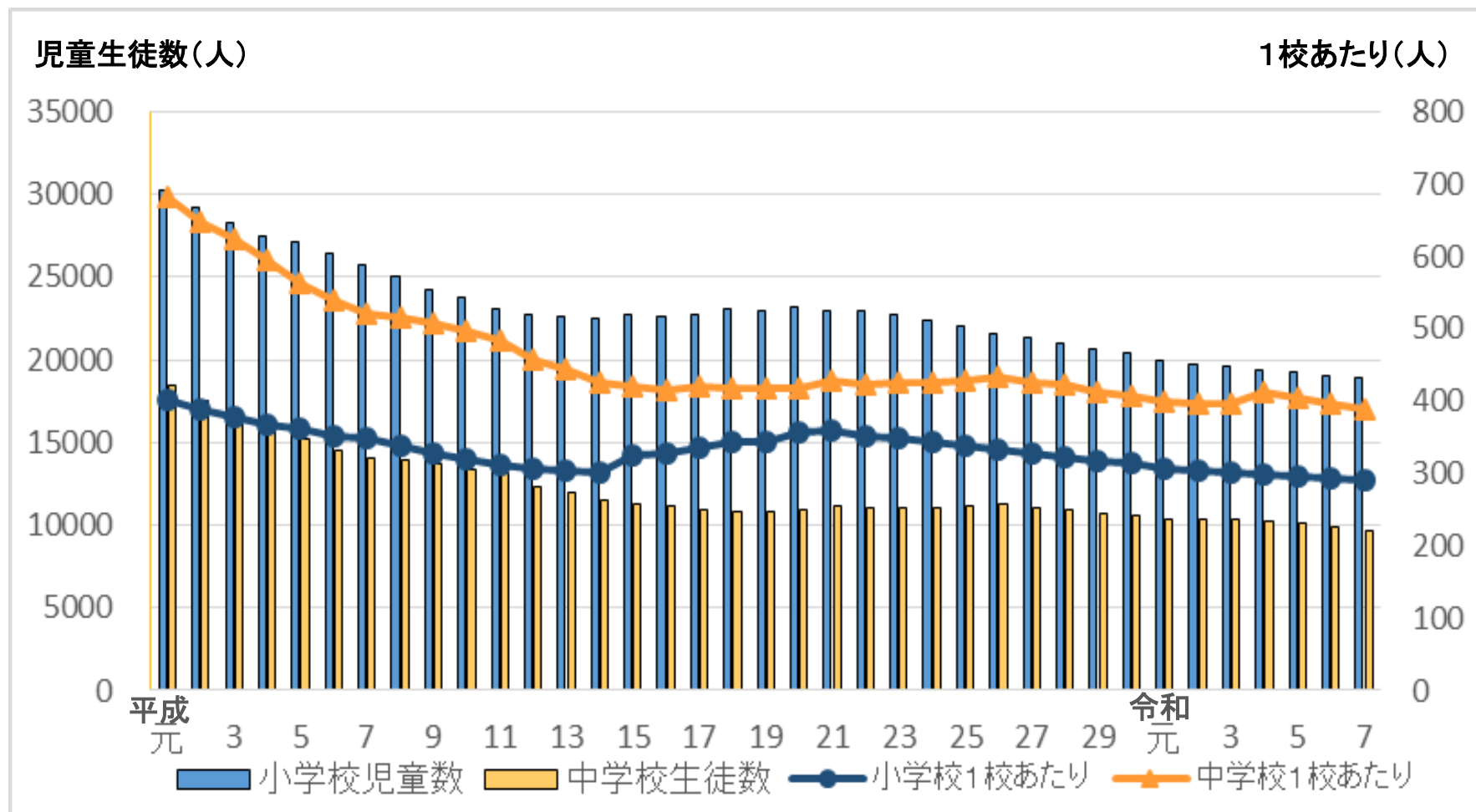
(1) 人口の推移

人口(人)



1 富山市全体の状況

(2) 市立小・中学校の児童生徒数の推移



1 富山市全体の状況

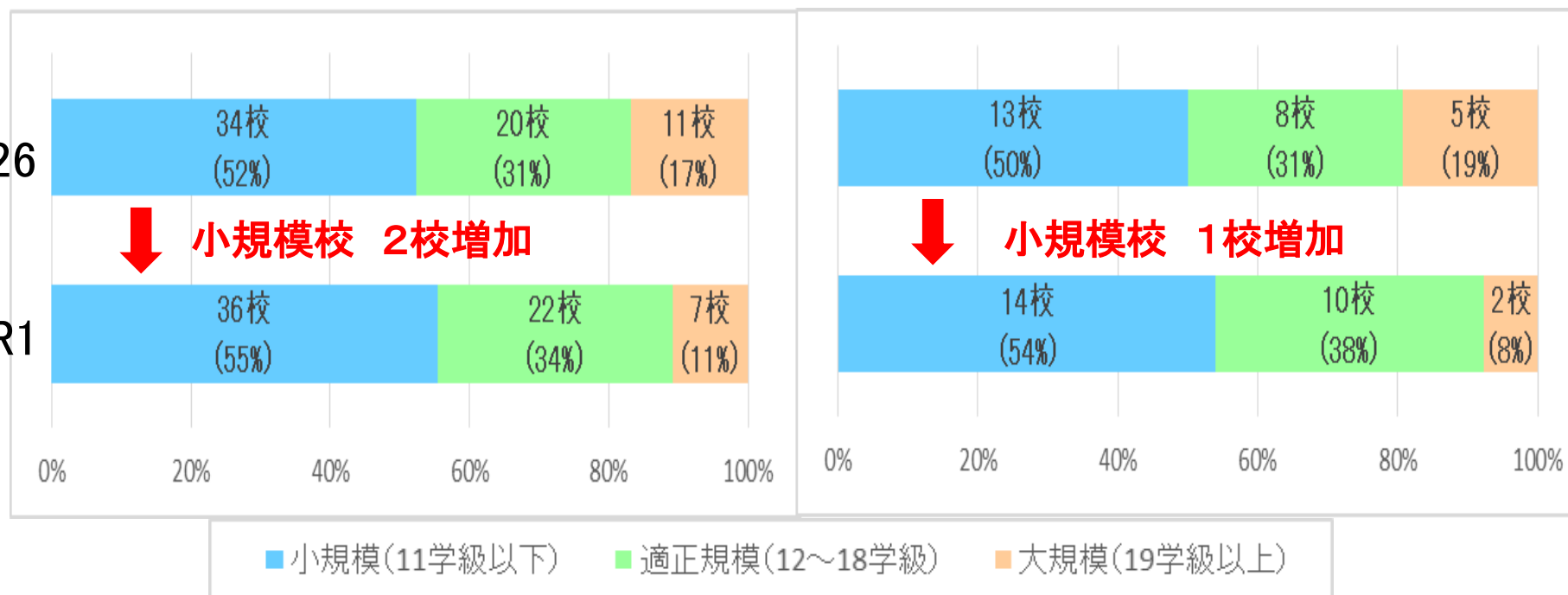
(3) 市立小・中学校の学校規模

標準（適正規模）：1校あたり12～18学級

(※学校教育法施行規則)

小学校

中学校

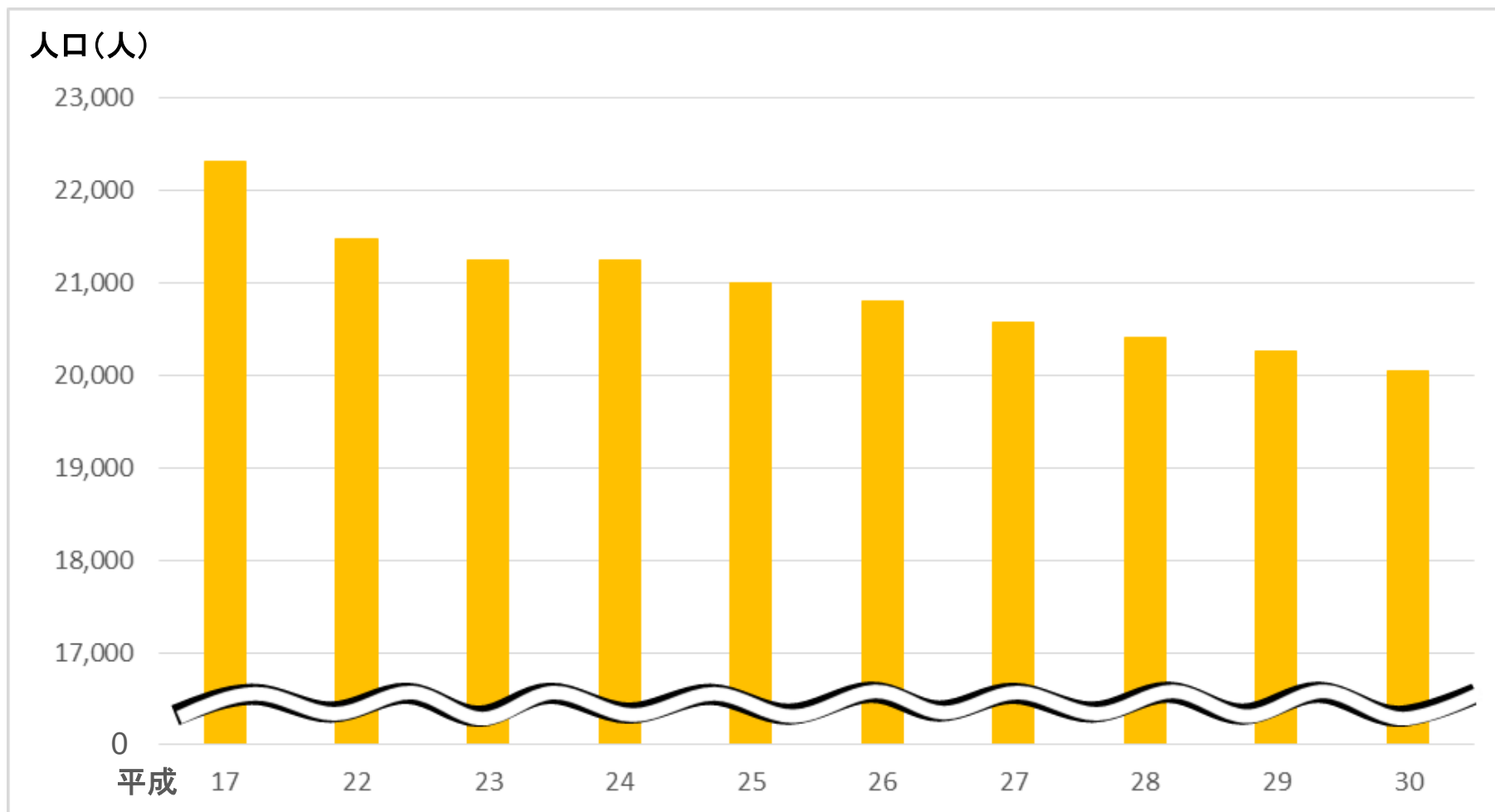


市立小・中学校の5割以上が小規模校

2八尾地域の状況

(1) 人口の推移

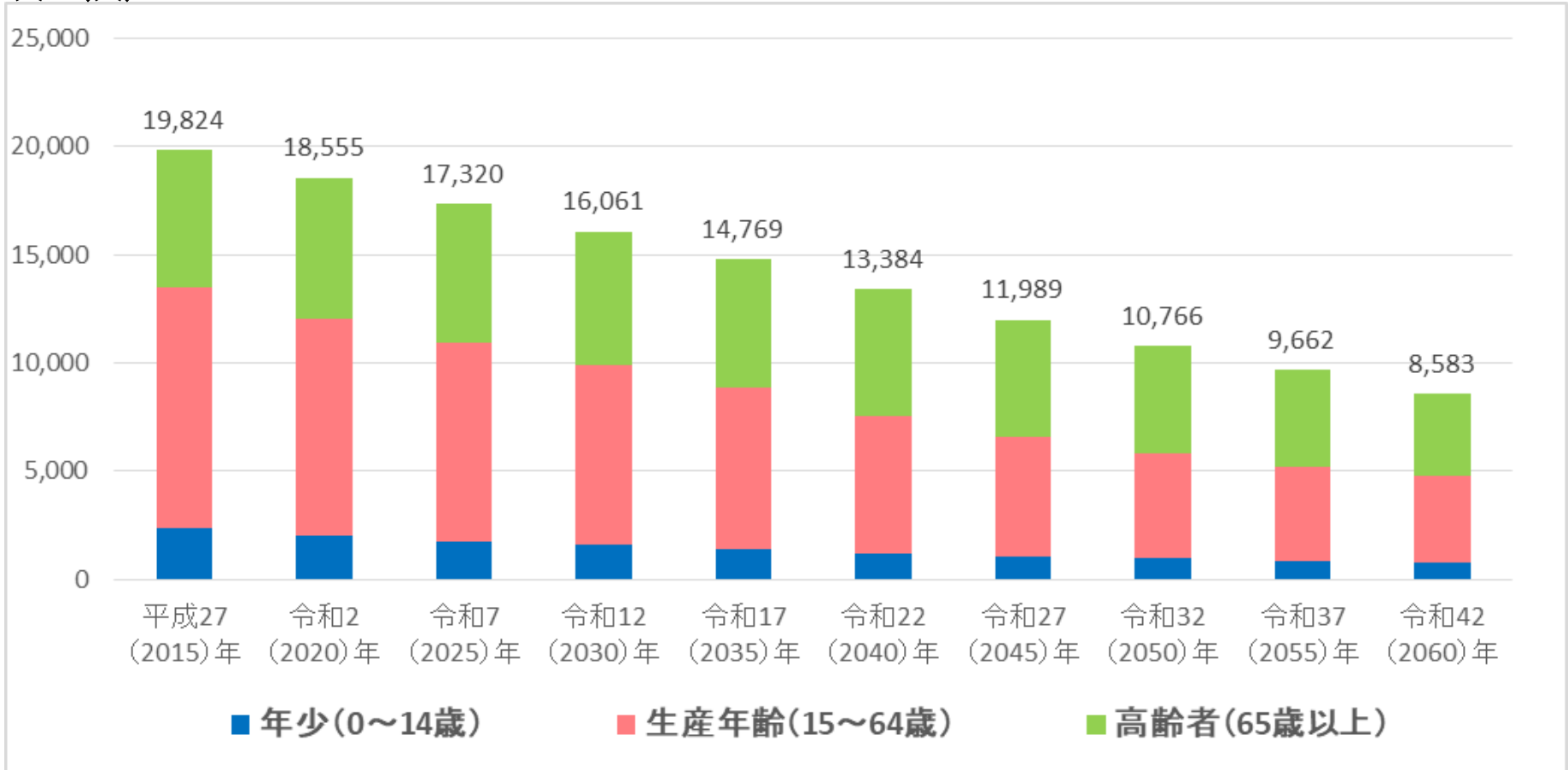
※ 各年9月末



2 八尾地域の状況

(1) 人口の推移

人口(人)



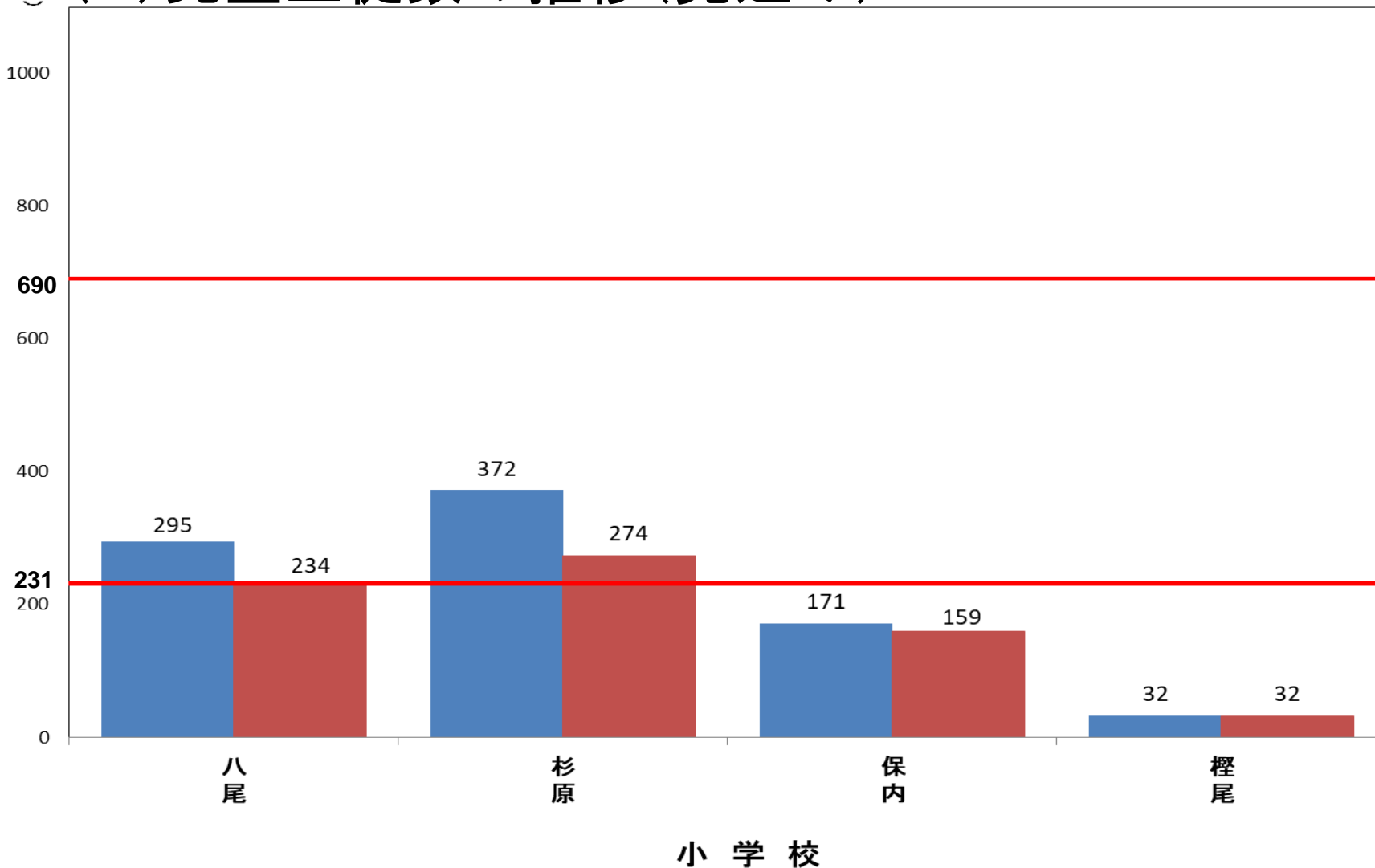
※「富山市公共施設マネジメント アクションプラン戦略編」の人口推計を基に作成

2八尾地域の状況

人数(人)

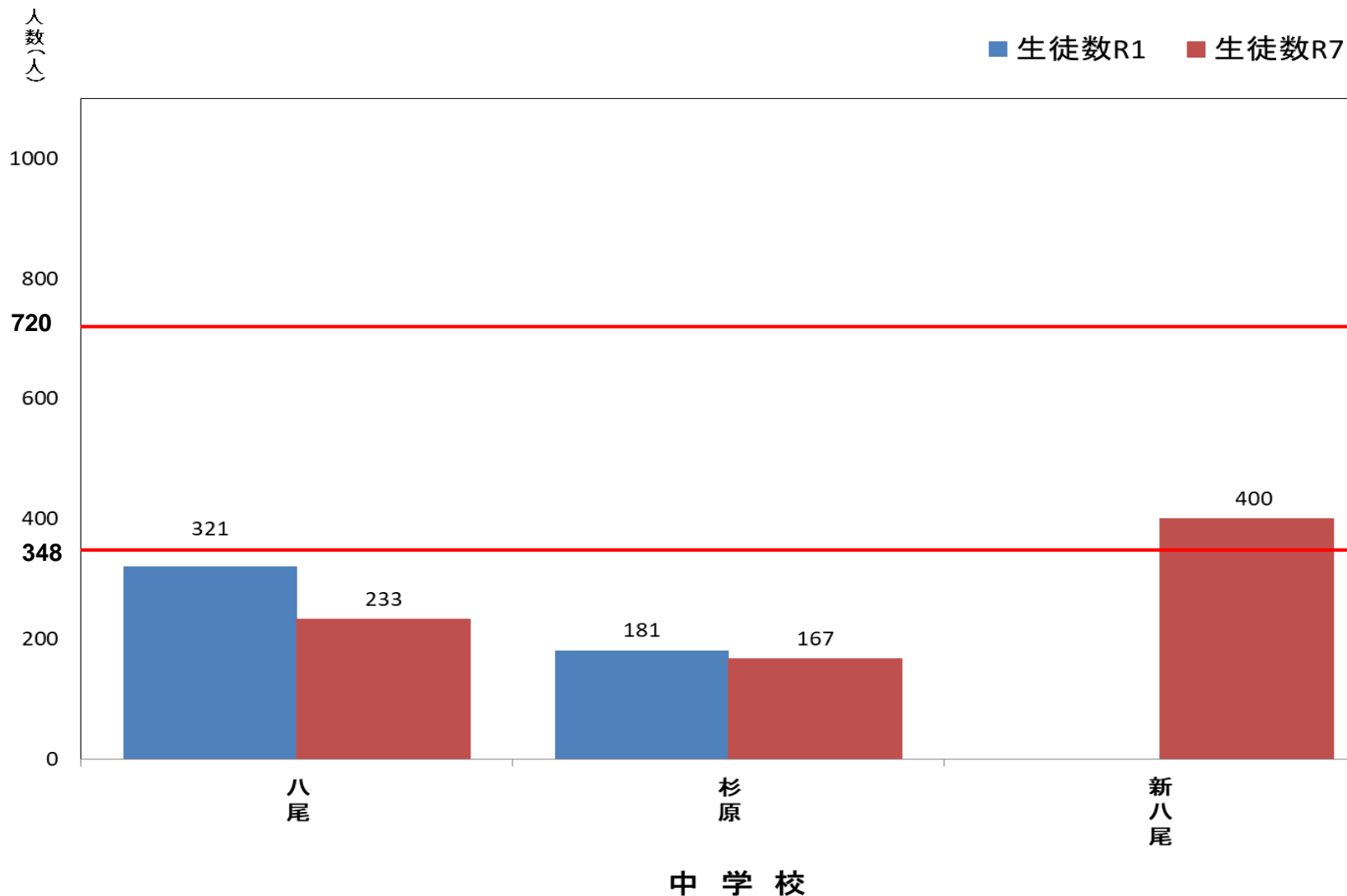
(2) 児童生徒数の推移(見込み)

■ 児童数R1 ■ 児童数R7



2 八尾地域の状況

(2) 児童生徒数の推移(見込み)

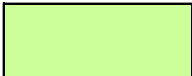


2 八尾地域の状況

(3) 学校規模の推移(見込み)

児童数(人)

小学校	年度	学級数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
八尾小	R 1	12	46	48	39	55	48	59	295
	R 7	10	32	38	30	43	50	41	234
杉原小	R 1	12	51	50	77	63	76	55	372
	R 7	10	30	57	52	45	53	37	274
保内小	R 1	7	37	27	16	31	37	23	171
	R 7	6	22	20	29	31	27	30	159
檜尾小	R 1	3	5	3	4	6	9	5	32
	R 7	4	4	3	2	7	10	6	32

 適正規模 (12~18学級)

 複式学級

 小規模 (11学級以下)

2 八尾地域の状況

(3) 学校規模の推移(見込み)

生徒数(人)

中学校	年度	学級数	1年生	2年生	3年生	合計
八尾中	R 1	9	93	109	119	321
	R 7	7	91	78	64	233
杉原中	R 1	6	60	63	58	181
	R 7	6	48	48	71	167

新八尾中	年度	学級数	1年生	2年生	3年生	合計
	R 7	12	139	126	135	400



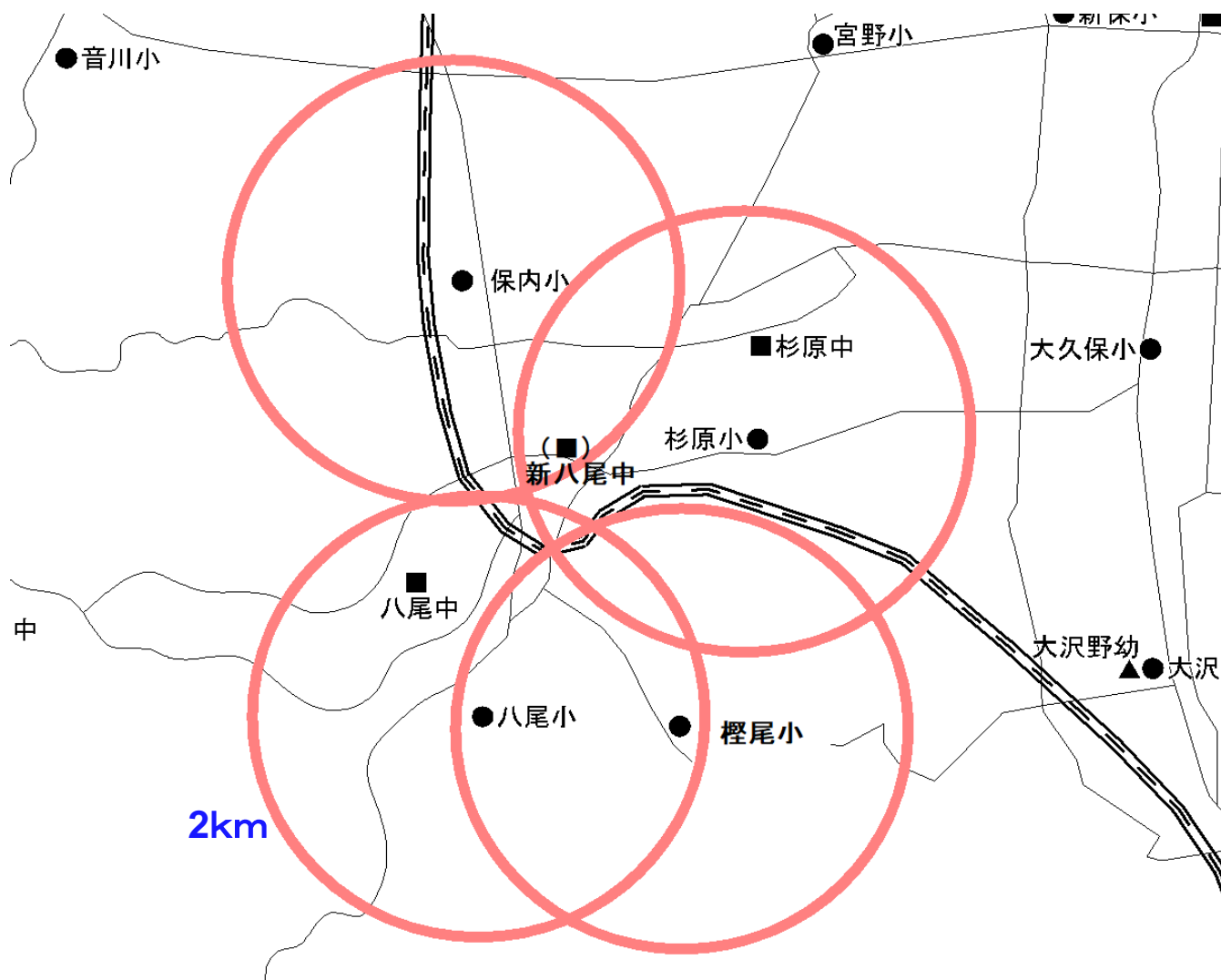
適正規模 (12~18学級)



小規模 (11学級以下)

2八尾地域の状況

(4) 学校の位置



2 八尾地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

八尾小

H6.12 校舎・体育館改築竣工式

H15.4 八尾小、室牧小、下笹原小、野積小、
仁歩小の5校が、八尾小学校として再編

H16.10 新プール完成

H28.8 体育館天井改修工事完了

杉原小

H19.12 校舎増築工事完成

H20.2 既存校舎内部改修工事完成

保内小

H11.7 新校舎竣工式、新プール完成

H11.10 新グラウンド完成

檜尾小

H21.1 新校舎竣工式

2 八尾地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

八尾中学校

H9.1 特別教室棟竣工

杉原中学校

S62 校舎3教室 増築



令和4年4月 八尾中学校と杉原中学校が統合し、
新八尾中学校として開校予定。

3 小規模校における教育

(1) 小規模校のよさ

- 一人ひとりの子どもに対して、きめ細かな指導ができる。
- 学校行事で子どもたちの活躍の場が多い。
- 他学年や地域の方と交流活動がしやすく、親交を深められる

3 小規模校における教育

(2) 小規模校の課題

小・中学校共通

- クラス替えがないため、多様な考えに触れる機会や、社会性や規範意識を身につける機会が得られにくい。
- 体育のバスケットボール等の団体競技や音楽の合唱等が行いにくい。
- 経験年数、専門性、男女比など、教員をバランスよく配置できない。

3 小規模校における教育

(2) 小規模校の課題

小学校

- 複式学級となる場合には、教員が複数学年分の指導準備を行うこととなり、各学年へのきめ細かい指導が行いにくい。
- 教務主任が学級担任を兼務するなど、一人の教員にかかる負担が大きくなる。

中学校

- 9教科10科目すべての教員がそろわず、一部の教員が専門以外の教科の授業を行わなくてはならない。

※ 教科担当教員の配置 1校3学級→6人

⇒ 9教科10科目の対応が難しい

- 開設できる部活動の数に制約が生じる。

4 適正規模、適正配置に向けた取り組み

(1) 小規模校

- ① 学校の統合
- ② 学校選択制の導入
- ③ 小規模特認校制
- ④ 通学区域の見直し

(2) 大規模校

- ① 学校の分離
- ② 施設の増築
- ③ 通学区域の見直し

5 学校規模に起因する デメリット緩和に向けた手段

(1) 小規模校

- ① 教員の加配置や複数校兼務
- ② 小中一貫教育、義務教育学校
- ③ ICT機器の活用

(2) 大規模校

- ① 教員の加配置

おわりに



児童生徒数の減少に伴い、学校の統廃合は将来的に避けて通れない大きな課題です。

学校の標準規模化を図るなど、次代を担う子どもたちにとって、地域・保護者・教育委員会が一体となって、よりよい教育環境となるよう考えていく必要があります。

